

A photograph of two young men sitting at a table in a modern, brightly lit indoor space, possibly a cafe or office breakroom. They are both smiling and looking towards each other. The man on the left is wearing a white t-shirt and has a small blue logo on it. The man on the right is wearing a dark blue button-down shirt and a grey baseball cap. On the table in front of them are several items: a white paper cup with a straw, a plate of food, and some other items. The background shows a large window with a view of a modern building with many windows. The overall atmosphere is bright and positive.

## 03 Our strengths

私たちの強み



# 03

## dentsuのDNA

### まだないものを創造し、国を豊かにしていく それが電通グループの根底に流れる価値観

創業者・光永星郎の手によって1901年に創設された日本広告株式会社(当時)は、日本国民の意識改革のため地方に質の高いニュース記事を行き渡らせようと、通信を基軸に広告販売とセットにした画期的なビジネスモデルを立ち上げました。その後、国策により通信部門を手放し、広告専業の会社として再スタートを切ることとなったものの、媒体社との関係や、社会の役に立ちたいという意識は脈々と従業員の中に引き継がれ、その後の電通グループのユニークなビジネスモデルへとつながっていきました。



創業者  
光永星郎

### ニューメディアの普及とともに多様な事業形態へと進展

第4代社長・吉田秀雄は、広告業界の発展・地位向上のために産業の基盤を整備するとともに、新たなる電波放送媒体の普及を推進しました。その後、民放ラジオ放送、民放テレビ放送が相次いで始まり、瞬く間に家庭に普及すると、日常の中でコンテンツを楽しむ新しいライフスタイルが日本に浸透しました。このニューメディアの普及とともに電通グループも発展し、万博やスポーツ、エンタテインメント、テーマパークなど多様な事業を手がけていきました。こうして豊かな社会を創造し、その発展に貢献する働き方は、電通グループのDNAに刻み込まれていきました。



第4代社長  
吉田秀雄

#### 震災復興の推進に協力

1995年の阪神・淡路大震災後には神戸ルミナリエを、2011年の東日本大震災後には東北六県の6大祭りが一堂に集う東北六魂祭をそれぞれ復興のシンボルとしてプロデュース。犠牲者の鎮魂や被災者への激励に取り組んだ。



所蔵：アドミュージアム東京

#### 革新的な技術でビジネスをリード

通信高速化のために1926年にいち早く航空部を設置し、取材先の写真などの搬送体制を整えた。また1928年にドイツで写真の電送技術が実用化されると、他社に先んじて写真電送機を買い付け、どこよりも早く通信業での実績を積んだ。



#### 「民」の視点から 業界発展のために尽力

広告の地位向上を目指し、1952年に新聞の発行部数公開を推進する日本ABC協会の前身であるABC懇談会を発足。更に民間放送の設立・普及、クリエイティブの技術水準向上のための広告電通賞設置など常に「民」の視点から業界全体の発展のために尽力した。

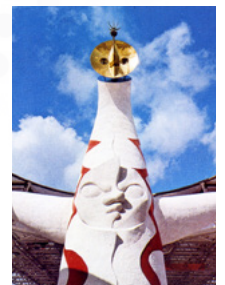


#### 更なる コミュニケーション分野への展開

1980年代以降、電通グループは、コンテンツを基軸にテーマパークやショールーム、商業施設など新たな分野へソリューション提供の場を拡げ、生活者の行楽という新しい文化の確立、及び顧客企業と生活者の新たな接点の創出に貢献した。

#### 万博事業を起点にさまざまなコンテンツ分野へ

1970年の大阪万国博覧会という国家事業の準備から本番の実施運営に至る業務で培ったさまざまなノウハウをもとに、エンタテインメント、スポーツ、イベント、PRなどさまざまな分野において、「コンテンツと企業と生活者をつなぐ」という視点で顧客企業向けサービスを拡充した。



## One dentsuのスタート

2023年1月、電通グループは、One dentsuをスタートしました。One dentsuは、電通グループの組織を合理化し、グループ経営の透明性を高め、中長期的な戦略に基づく重点領域・市場の特定、そして迅速かつ大胆な経営資源の投下を可能にする一方、すべての機能で卓越したオペレーションを推進します。グローバル経営を牽引する経営陣は、当社グループの多様なケイパビリティを統合し、顧客企業の事業に成長をもたらすとともに、電通グループの企業価値の持続的な成長を実現します。

### One dentsuの狙い

#### 電通グループ全体による

#### パーパスとビジョンの共有と体現

私たちは「人の力」を信じており、志を共有する多様な才能がシームレスに結ばれることで生まれる可能性を大切にしています。One dentsuの下、約72,000名の人財が電通の企業文化を共有し、一つのパーパスとビジョンを共有します。電通グループは、主体的に動くこと、アイデアを応援し、尊重し、勇気づける企業文化を持っています。こうした文化を活かして、今後はグローバル経営による競争力の強化や事業変革の加速、加えて経営の更なる高度化を実現し、当社グループの成長とサステナビリティの推進による企業価値の向上を実現します。

### 組織体制の変革

#### 事業単位の再編

グループの全体戦略の明確化、意思決定の迅速化、地域戦略の高度化、事業効率性の向上を目的とし、電通ジャパンネットワーク、電通インターナショナルの2事業体制を解消し、一つの事業として統合するとともに、新たに「dentsu Japan」「dentsu Americas」「dentsu EMEA」「dentsu APAC」の4つの地域に再編しました。また、各地域担当CEOへ権限を委譲し、地域ごとの事業環境や自社のマーケットポジションに即した経営を推進します。

### 新組織「クライアント&ソリューションズ」の立ち上げ

「クライアント&ソリューションズ」は、One dentsuによって発揮される電通グループ全体の「つながり」と「コラボレーション」を背景として、顧客企業との関係を拡大することを目的に立ち上げました。クライアント&ソリューションズは、顧客企業との関係を強化し、当社のケイパビリティを最大限に引き出すための投資を行っています。例えば、特定の産業に関する専門性の統合、ビジネス・トランスフォーメーションに関するコンサルティングとイノベーションなどへの継続的な投資です。

クライアント&ソリューションズを通じて、当社グループの価値を顧客企業へシームレスに提供し続け、長期にわたる深いパートナーシップを構築するにあたり、日本で培われてきた電通グループ独自の「eigyo」モデルを他の地域にも広く浸透させる取り組みも行っています。顧客企業に寄り添い包括的なサービスを実行する「eigyo」モデルを習得するためのトレーニングプログラムを社内で開発し、既に、日本国外の電通グループから100名近い次世代のリーダーが参加しました。クライアント&ソリューションズ以外にも「人起点の変革」の最前線に立ち、社会にポジティブな動力を生み出す」というビジョンを実現するために、One dentsuの経営基盤に投資し、顧客企業と共に未来を見据え、パーパスを共有することで顧客企業の事業変革を支援していきます。



- パーパスとビジョンの共有と体現
- 事業変革の加速
- 意思決定の迅速化
- 経営の更なる高度化

### グループ・マネジメント・チームの組成

One dentsuの下、2023年度以降、電通グループ史上でも最も多様性に富み、統合された経営の執行体制を編成しました。社長 CEOの五十嵐をトップとする「グループ・マネジメント・チーム」は世界の4事業地域を直接統括し、構成するメンバーは、タイトルによって明確にされた役割と責任を担います。同チームの中心となる、Group Executive Management (グループ・エグゼクティブ・マネジメント)は、4事業地域のCEOを含む主要な領域のビジネス、コーポレートの責任者で組織され、執行の意思決定機関であるグループ経営会議を構成します。

インテグレートド・グロース・ソリューションの強化による顧客企業の事業成長やより良い社会及び企業価値の向上を目的に、グローバルなグループ・マネジメント・チームを組成しました。このチームのもと、全世界で約72,000名の人財価値を最大限に引き出し、それぞれの国・地域で独自の強みを発揮するとともに、相乗効果や効率性の向上により、更なる事業成長と収益向上を実現していきます。そして、私たちはこの経営体制の刷新により、長期的・持続的成長の確度を高めていきます。同時に、顧客企業、パートナー企業、従業員、生活者、ひいては、より良い社会の実現に貢献していきます。

社長 CEO 五十嵐 博

## 人起点の経営体制

グループ・マネジメント・チームの中で執行責任を負うメンバーで構成されるのが、経営戦略の立案と推進を審議決定する「グループ経営会議」です。専門領域・ジェンダー・国籍等の多様性により「人起点の変革」を加速させます。

### グループ経営会議メンバー



**五十嵐 博**  
(株)電通グループ 社長 CEO



**曾我 有信**  
(株)電通グループ 副社長  
チーフ・ガバナンス・  
オフィサー



**平手 晴彦**  
(株)電通グループ 副社長  
チーフ・コーポレート・  
アフェアーズ・オフィサー



**ニック・プライデイ**  
(株)電通グループ  
CFO



**高橋 惣一**  
(株)電通グループ  
チーフ・ストラテジー・オフィサー &  
チーフ・インテグレーション・オフィサー



**谷本 美穂**  
(株)電通グループ CHRO



**ジーン・リン**  
(株)電通グループ  
チーフ・カルチャー・オフィサー



**ジェレミー・ミラー**  
(株)電通グループ  
チーフ・コミュニケーションズ・  
オフィサー



**ドミニク・シャイン**  
(株)電通グループ  
チーフ・インフォメーション・オフィサー



**アリソン・ゾルナー**  
(株)電通グループ  
ゼネラル・カウンセル



**中村 将也**  
dentsu  
チーフ・インテグレートッド・  
ソリューションズ・オフィサー



**佐野 傑**  
dentsu  
ビジネス・トランスフォーメーション  
CEO



**樽谷 典洋**  
dentsu Japan CEO



**ジュリオ・マレゴリ**  
dentsu EMEA CEO



**ロブ・ギルビー**  
dentsu APAC CEO



**マイケル・コマシンスキ**  
dentsu Americas CEO &  
dentsu インターナショナル・マーケット  
CXM CEO



**ピーター・ハイブーン**  
dentsu  
インターナショナル・マーケット  
メディア CEO



**綿引 義昌**  
dentsu Japan  
COO



**ネナ・イロメチナ**  
dentsu  
インターナショナル・マーケット COO